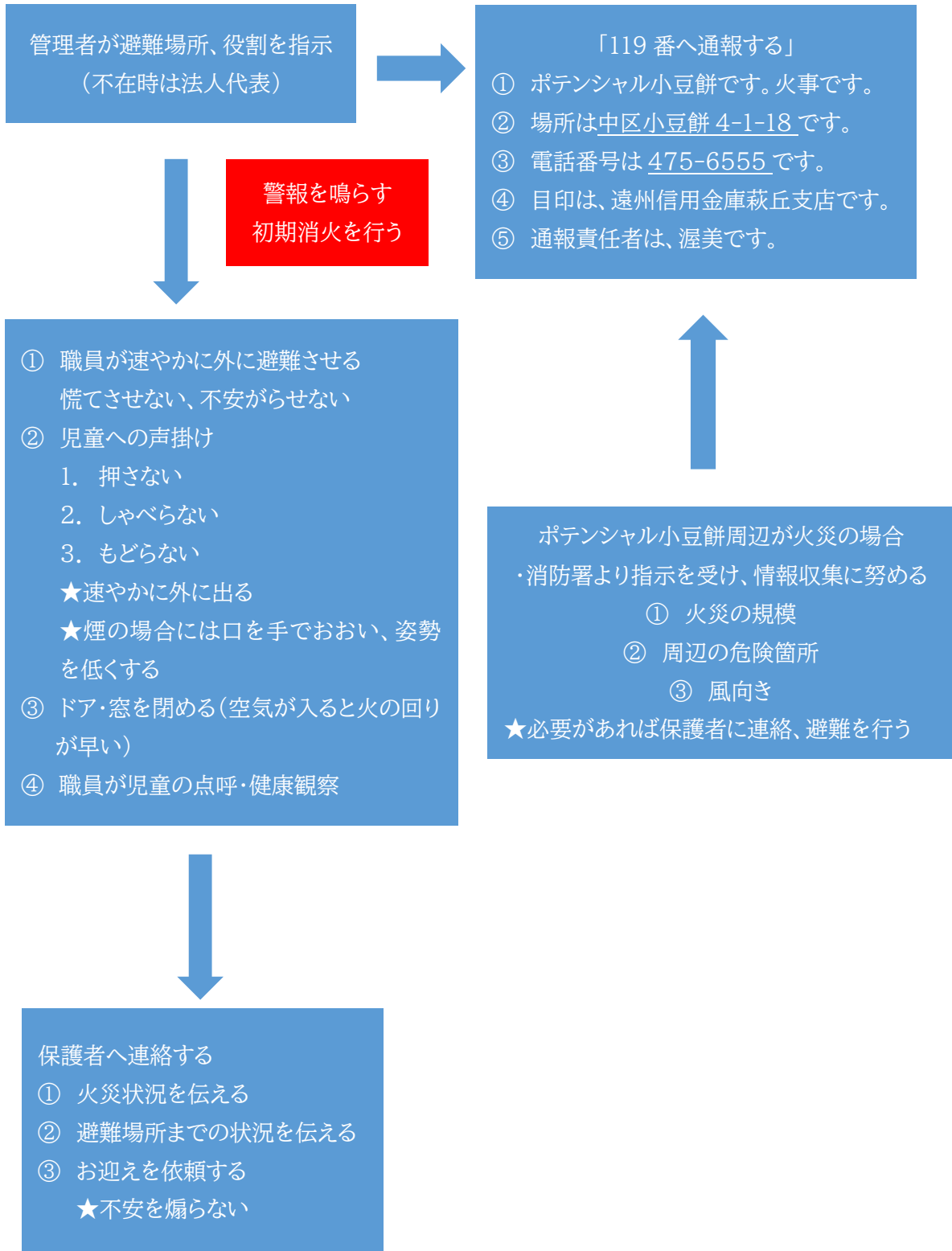


災害時マニュアル

ポテンシャル小豆餅

令和 6 年度作成

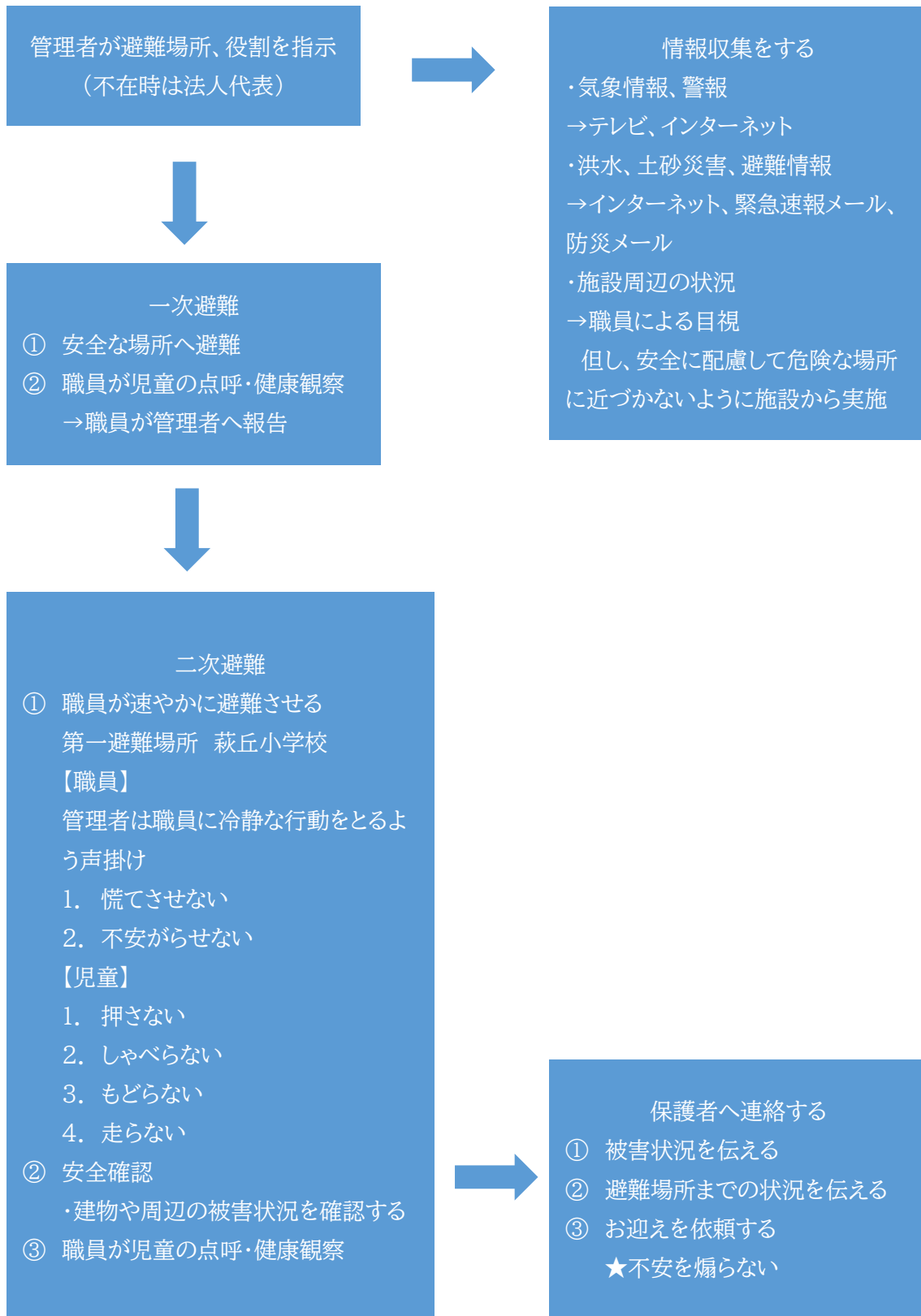
火災発生時



火災発生時の対応マニュアル

- ・火災発生時、管理者は避難場所を判断し、職員に指示を行うが、その際には職員がまず落ち着いて行動するよう伝える。
 - ・警報を鳴らし、職員に火災の発生を伝え避難準備を行う。
 - ・管理者は初期消火を実行するが、危険が生じるような状態であれば、すぐに消火をやめ避難する。
 - ・管理者は 119 番通報をマニュアルに沿って落ち着いて行う。
 - ・避難誘導係は決められた避難場所に児童達を誘導するが、他の職員にも落ち着いて行動するよう伝える。
 - ・児童達は全ての行動を止め、職員の話聞き、怖がらせる事なく状況を伝え迅速に避難する。
 - ・避難後は点呼と健康管理を行う
 - ・保護者へ連絡し、お迎えの依頼と安全な経路を伝える
 - ・浜松市に連絡し、その後の支援についても連絡を行う
- ★ポテンシャル小豆餅周辺での火災の場合も、消防署の指示により必要があれば避難し、保護者にも連絡する

水害・台風時



水害・台風時の対応マニュアル

・水害・台風は氾濫のおそれがある河川や海、溝などが近くにあるかをハザードマップで確認する。

・水害や台風は短時間で変化していくので、テレビやインターネット等で常に最新の情報を確認しておく。

・施設が被害にあった際には、翌日からのサービス提供の有無を浜松市に確認する。

・被害状況により、保護者のお迎えが出来ない場合には、児童や職員の宿泊も予想されるので、食事の提供や寝る場所などの物品等も想定する。

地震発生時

地震発生

↓

- ① 身を守る体制をとる
揺れを感じたら落下物のない安全な場所に集まり、身の安全の確保(慌てて外に出ない)。
- ② 揺れが収まったら、管理者がスタッフに避難場所や役割を指示する。
一次避難 揺れが収まったら、安全な外に避難する。
- ③ 安全確認 児童の点呼と怪我人の有無確認。
→必要に応じて救急要請。
→規模が小さな地震の場合(情報・状況から被害や影響がないと判断された場合)には、通常営業を再開する。
- ④ 建物の安全が確認できない場合、萩丘小学校へ二次避難を開始。
- ⑤ 保護者へ連絡 ★不安を煽らない
・状況や避難場所を伝える。
・お迎えを依頼する。その際、保護者名・お迎え時刻の確認。
- ⑥ 営業再開への計画
・児童家族の被災状況の把握(安否確認)
・職員の帰宅支援
・営業再開について浜松市への連絡

地震発生時の対応マニュアル

- ・避難は状況により一次避難と二次避難(萩丘小学校)の二段階とする。
- ・大規模地震の場合、ライフラインが被災し、施設に大きな損害が無くても営業が再開できないこともある。
このことを踏まえ、自家発電装置や非常食等の備蓄を検討する。